

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

担当課	河川課
-----	-----

総合計画 政策の柱	市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	良好な水と緑の環境を創出する	取組の 基本方向	「良好な水と緑の環境を創出する」ため、河川の治水対策や水辺に親しめる環境づくりを進めるための「快適な河川環境の創出」に重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	市民が身近に自然と親しめる良好な水と緑の環境が創出され、自然との共生が深まっています。
--------------	------------------	----------------	----------------	-------------	--	------------------	---

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	快適な河川環境の創出						達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)
	環境と調和のとれた快適な河川環境が創出されています。							H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	
施策目標	環境と調和のとれた快適な河川環境が創出されています。						計画的に自然生態系などに配慮した河川整備を実施している。 改修済みの区域については溢水被害は解消しているが、未改修区域については依然改修の要望が高い。 溢水被害の解消には、河川整備事業の実施が必要である。 自然生態系に配慮した整備を進めると同時に、市民参加による維持管理や河川環境基金事業によって愛護精神の向上を図っている。	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	---	95.0%
施策を取巻く環境	都市化の進展と昨今の異常気象により、豪雨時の溢水被害が依然として発生している。河川整備において、治水機能の向上を基本としながら、環境との調和が求められている。							自然生態系などに配慮して整備している河川の整備率(%)	54.7	55.1	56.0	56.9	57.8	
								---	54.3	54.9			---	
市民の 施策満足度	35.4%	施策の 評価	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	現状課題の抽出						
市民の 施策重要度	69.9%		必要性 (住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している	説明	依然として豪雨時の溢水被害が発生していることから、今後も市民が安心して快適に暮らすことができるよう、河川整備を推進する必要がある。緊急性や優先度を考慮し、事業の重点化を図りながら河川整備率の向上に努めていく。整備においては自然環境へ配慮し、環境と調和のとれた快適な河川環境の創出に努める。						
			効率性 (事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明							
			有効性 (政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明							

3 今後の取組方針

取組の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 集中豪雨時には浸水被害が発生しているため、緊急性等を考慮しながら河川整備を推進し、浸水被害の解消に努める。 河川整備には多大の費用がかかることから、新たな補助事業の導入に努め、優先化、重点化を図りながら整備を推進する。 自然生態系に配慮し、環境と調和のとれた快適な河川環境の創出に努める。 	→	政策評価 会議意見	環境と調和のとれた快適な河川環境を創出するため、治水機能の確保と同時に、生物の生息環境に配慮し、周辺環境との空間的な連続性の保全に努めているところである。また、河川愛護グループへの支援やグラウンドワーク活動センターの指定管理など河川環境への関心を向上させる取り組みも継続しているところである。今後も地域との連携は勿論、環境部門との情報の交換・共有を図り、地域に親しまれる河川環境の整備を推進していくこと。また、整備上の課題として、維持管理コストの縮減や技術の向上など、業務の仕組みや手法について検討すること。
------------	--	---	--------------	--

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	準用河川整備事業 担当課 河川課	流域に居住する住民及び市民	S50	河川整備延長	395m	428m	518,777	478,799	A	継続	環境と調和のとれた快適な河川環境を創出するため、溢水被害の早期解消を図るとともに、治水機能を高め、自然環境に配慮した河川の整備を推進する。
					415m	429m					
2	普通河川整備事業 担当課 河川課	流域に居住する住民及び市民	S47	河川整備延長	302m	270m	97,267	51,852	A	継続	環境と調和のとれた快適な河川環境を創出するため、溢水被害の早期解消を図るとともに、治水機能を高め、自然環境に配慮した河川の整備を推進する。
					192m	143m					
3	都市基盤河川御用川整備事業 担当課 河川課	流域に居住する住民及び市民	H3	用地取得面積	2,369㎡	2,630㎡	288,374	30,023	A	継続	環境と調和のとれた快適な河川環境を創出するため、地元住民に理解を得ながら用地買収を進め、自然環境に配慮した河川整備を実施する。
					2,369㎡	2,630㎡					
4	都市基盤河川奈坪川整備事業 担当課 河川課	流域に居住する住民及び市民	H20	流入立坑整備率	-	56%	-	313,650	A	継続	溢水被害のある住民からの強い要望がある。環境と調和のとれた快適な河川環境を創出するため、地元住民に理解を得ながら用地買収を進め、自然環境に配慮した河川整備を実施する。
					-	5%					
5	河川愛護活動事業補助金 担当課 河川課	所属する河川愛護グループ	S45	河川愛護グループ数	45	77	1,525	1,554	A	継続	河川愛護グループの増加傾向から、流域住民の河川愛護意識の高まりが感じられる。環境と調和のとれた快適な河川環境を創出するため、今後も活動を支援することで、河川環境の保全と河川愛護意識の向上を図っていく。
					47	78					
6	河川環境基金事業 担当課 河川課	市内全域の市民	H3	河川絵画板設置枚数	12枚	14枚	1,625	3,073	B	継続	河川絵画板の設置により、川沿いの風景が改善され、道行く人々の心の潤いづくりに役立っている。環境学習においては、子供たちが川に親しむことで、河川環境への意識啓発がなされている。環境と調和のとれた快適な河川環境を創出するため、今後もこれらの事業の充実に努め、河川環境への関心を高めていく。
					13枚	16枚					
7	グラウンドワーク活動センター指定管理 担当課 農村整備課	地域住民、企業	H18	利用者数	5,700人	5,800人	2,966	2,966	B	継続	環境と調和のとれた快適な河川環境を創出するため、自然環境への関心が高まるよう、今後も事業内容の充実に努めていく。
					5,700人	6,350人					
施策事業費合計							910,534	881,917			